

こんにちは！イイタネちゃん 村のゆるキャラが誕生しました



【特集】

「農」の再生 やるぞ！はじめの一步

長清さん、
初産なのでよろしくね
私もがんばるから！



今は自宅に住んで、繁殖牛の世話を
続けているよ。家内は隣町で幼稚園
児の孫を迎える役目があるから、無理
をしなくてもよいと言ったんだが、一緒
にこっちに住んでいるよ。俺はひまが
あれば牛をこすってやるんだ。やっぱり
この仕事が好きなんだよなあ。初産
の牛が多いが、村外から戻したおツ
ボネさんの牛もいる。夏から秋にかけ
て、これからお産が続く予定だよ。



山田長清さん（伊丹沢）
畜産農家

山田さんは、昨年9月から繁殖牛の
飼養実証に協力。エサや敷きワラな
どは村外産を使用し、牛舎とパドッ
クで、飼養を続けています。現在牛
舎にいるのは18頭。この4月、再
開後初めて子牛を出荷しました。

やるぞ！

「農」の再生 はじめの一步



復興対策課 農政係
係長 杉岡 誠

生産物の販売を目指す「なりわい農業」
の届け出が、全農家の4.6%程度の55
件あります。厳しい冬を耐えて、いいた
ての地に芽吹きが生まれていることに、
心強さを覚えます。「子や地域に背中を
見せたい」「自らが肥やしになるつもり」
等、農の再生にかける想いをたくさんお
聞きしています。一步でも半歩でも、前
に進もうとする皆さんを、引き続き精一杯
応援させていただきます。

復興対策課農政係
本庁 ☎0244-42-1621

やるぞ！



「農」の再生へ 挑戦は続く

村の農業者の皆さんのお借りし、平成24年から続けてきた実証栽培
や試験栽培。その成果を受け、今年3月14日付けで、長泥地区を除く村内
の主要野菜の出荷制限・摂取制限が解除されました。農畜産物の生産が、
多くの品目で可能となり、村の農業は復活へと新しい一步を踏み出すこと
になります。村では「農地を守る」「生きがい農業」「なりわい農業」
「新たな農業」など多様な「農」へのたずさわりを大切にしながら、一
人ひとりの「農」の再生を実現していきます。「農」にたずさわる方々に
できる限りの支援をするために、生産再開にあたり、まずは届け出ていた
だくことをお願いしています。ぜひ一度、村農政係までお越しください。

いいたて四季彩景 ● 春の訪れ

真白の可憐な水芭蕉が見頃を迎えていました。4月23日、二枚橋の群生地にて。



CONTENTS 目次

- 3 特集 「農」の再生 はじめの一步
- 8 復興を歩む 福島大学との協力協定の締結
- 10 平成29年度 新職員の紹介
- 12 入園式・入学式
- 13 転入教職員の紹介
- 14 いいたて便り
- 16 つながるアルバム
- 18 おしらせ
- 19 入札結果
- 20 ひとかたる ものがたり / 堀先生相談室
- 21 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 22 フォトストーリー おかえりなさい式典
- 24 ホープス / 編集後記

飯舘村に新しい仲間が加わ
りました。ゆるキャラの
「イタネちゃん」です。
どうぞよろしく！仲良くし
てくださいね。



● 表紙のおはなし ●

出荷制限・摂取制限解除までの取り組み 実証栽培・飼養実証の経過を報告します

平成28年中に村内27か所で「ホウレンソウ・コマツナ・カブ・キャベツ・ブロッコリー」の5品目について、実証栽培を実施しました。

村内27か所の実証ほ場は、旧村単位【大須村・新館村・石橋村・飯曾村（長泥・蕨平を除く）】内でおおむね均等に分散するよう選定し、1か所あたりの面積2a（200㎡）を囲うように、イノシシ・サルの獣害防止用のワイヤーメッシュ柵と電気柵を設置しました。環境省の除染後に各ほ場の土壌分析を実施した際には、土壌1kgあたり360～6400ベクレル程度の放射性セシウム134・137の残留が見られましたが、各地区の村民の方に協力をいただいて、**土壌分析結果に応じた適正な放射性物質対策（2aあたり塩化カリ0～20kgと、硝酸安カリ20kgを散布しての耕耘）**及び施肥（苦土石灰・化成肥料等の散布）等を実施しました。キャベツ・ブロッコリーについては、移殖時期に雨が続いたため生育不良のものも見られましたが、ホウレンソウ・コマツナ・カブについては、播種後の肥培管理により、おおむね良好に生育しました。

この結果、生育状況を見ながら各品目ともに1kg以上を採取し、検出限界値（測定可能な最小値）が1kgあたり6.9～23.7ベクレルの範囲内で、県がモニタリング検査を実施した結果、全品目・全収穫物について、「一般食品中の放射性物質の基準値（1kgあたり100ベクレル）」を大きく下回りました。

この結果を受けて、平成29年3月14日付で福島県により、長泥地区を除く村内全域での主要野菜（結球性葉菜類・非結球性葉菜類・アブラナ科花蕾類・カブ）について、出荷制限・摂取制限が解除されました。

主要野菜以外のこれまでの栽培・飼養等の結果について

震災後の平成24年度から国・県・村が実施してきた実証栽培等については、いずれも適正な放射性物質対策や飼養管理等を実施した結果、以下のとおり良好な結果となりました。

区分	品 種	食品放射能（ベクレル/kg）					備 考
		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
水 稻	ひとめぼれ・あきたこまち 天のつぶ・まいひめ こがねもち	ND 向押・小宮 ND≤13	ND 向押・小宮 ND≤25	ND 向押・小宮 ND≤25	ND 向押・小宮 ND≤25	ND 向押・小宮 ND≤25	平成24～25年：国・県 平成26～28年：村
野 菜	（露地）インゲン・白菜・大根 馬鈴薯・サツマイモ・カボチャ オオヤマボクシ（ごんぼっぱ）	ND 向押 ND≤10		大根下部 18.8 他はND ND≤17	ND 向押 ND≤32	ND 向押 ND≤27	村 除染後の田
	（施設）ミニトマト キュウリ・ナス	ND 向押 ND≤10		ND 向押 ND≤14	ND 向押 ND≤26	ND 向押 ND≤19	村 除染後の田
穀 類	そば				ND 向押 ND≤32	ND 前田 ND≤23	平成27年：村 除染後の田 平成28年：村 除染後の畑
	小麦					ND 向押 ND≤20	村 除染後の田
	エゴマ					ND 深谷 ND≤12	村 除染後の田
	エダマメ					ND 向押 ND≤20	村 除染後の田
	大豆					4.6 関根	県 除染後の畑 カリ剤50mg/100g
牛	繁殖雌牛					ND 伊丹沢 ND≤1.3	村 清掃後の牛舎等 血液検査

※ND（Not Detected）＝ 検出限界値未達（不検出）
それぞれの測定における検出限界値を、ND≤検出限界値（ベクレル/kg）で付記しています

主要野菜の出荷制限・摂取制限が解除されました（長泥を除く） 村内の生産活動には以下のルールがあります

平成29年3月14日付で、長泥地区を除く村内全域で主要野菜（結球性葉菜類・非結球性葉菜類・アブラナ科花蕾類・カブ）の「出荷制限、摂取制限」が解除されました。

この制限解除は、実質的には「**村内での作付け制限の解除**」です。村内で農畜産物を作付け・飼養する際は、**必ず復興対策課農政係まで届け出て、以下の条件を厳守してください。**

【対 象】

主食用米・野菜・ソバ・麦・大豆・行者ニンニク・葉わさび・飼料用米・牧草・飼料用稲・エリアンサス・デントコーン・銀杏・梅・ナツハゼ・タラノメ・たけのこ・ふきのとう・野生きのこ類・菌床きのこ類・葉たばこ・花き類・繁殖牛・肥育牛・乳用牛・豚・羊・馬・鶏など



【作付け等の条件】

1. 除染が完了した農用地・施設等を使うこと！

未除染農地・施設、震災前の堆肥・肥料、その他資材等は、絶対に使用しないでください。

2. 始める前に村に届け出ること！

作付け・飼養に必要な各種分析や生産物の検査等を、村・県が連携して支援します。営農の目的に関わらず、必ず事前に届け出てください。

3. 放射性物質対策（カリ剤の散布等）を確実に実施すること

農作物は、適正にカリを施用しないと、放射性物質を吸収します。畜産動物は、県による飼養状況確認調査を受けないと飼養することはできません。詳しくは村に相談しましょう。

4. 生産物は全て放射性物質検査（県・村：無料）を受けること

放射性物質モニタリング検査は県・村が実施しますので、検査料はかかりません。

【品目ごとの条件】

1. 米

村および飯館地域農業再生協議会に、あらかじめ作付け計画を提出してください。作付け計画の提出がない場合は「作付け・収穫・全量全袋検査・自家消費・出荷」はできません。

2. 野菜類

園芸品目の作付けは、全て村に届け出てください。収穫前・出荷前に、県のモニタリング検査等を受ける必要があります。

3. 牛

再開する前に県の飼養状況確認調査の受検が必要です。

4. きのこと・山菜等

村内で採取・栽培したきのこ・山菜等を食べたり、ゆずったりしないでください。



詳しくは復興対策課農政係（本庁☎0244-42-1621）にお問い合わせください。

検査を受けない農畜産物を、1品目でも販売したり、他の人にゆずったりした場合は、村全域に新たに生産・出荷自粛の制限がかかることとなります。

営農再開が確かな前進につながるよう忘れずに届け出を！

村外での営農については

村で農業ができない間、技術を持った農業者に農業を続けてもらえるよう、県外も含めてこれまで約50件の営農再開を支援してきました。現在は、村の他、県・国（官民合同チーム）が、それぞれ訪問活動やヒアリングを行っていて、現状を踏まえたお話を改めてうかがっています。

※帰還困難区域の長泥地区の皆さんについては村外で営農再開するための支援事業があります。

これまで、村外で営農している畜産農家から、村内で使う牛糞堆肥の提供を受けるなどしてきました。村の農業者が互いに活かし合えるつながりを、協力してつくっていきましょう。

道の駅に直売コーナーを開設します

今年8月に開館する「いいたて村の道の駅までい館」に、直売コーナーを開設する予定です。それとともない、直売コーナーに農産物の出品を希望する村民への説明会を開催しています。

説明会への参加を希望される方は、下記までご連絡ください。

○日時と会場 5月14日（日）午後1時30分から 交流センター「ふれ愛館」研修室

申し込み・問い合わせ (株)までいガーデンビレッジいいたて (☎0244-42-1080)

景観作物の花畑情報

農業復興組合や個人が、農地保全活動の一環として景観作物を栽培し、緑肥にしています。

今年は、レンゲ・カラシナ・ポピー・ヒマワリなどの花畑が、村内で次々に見頃を迎える予定です。どうぞ、お楽しみに。

※個人の土地にみだりに立ち入らないようご協力ください。

写真はイメージです。



飯館の誇りをかけた
挑戦が始まっています

飯館村は農業の村。多くの村民が農業に携わり、味や鮮度の良さはもちろん、安全で安心な農畜産物の生産に励んでいました。村も、純農村の魅力と、ままでに育てた農産物の品質の高さを、地域資源としてさらに高めていくと取り組みました。品質向上や、商品開発に、多くの村民がいきいきと活躍し、直売所には生産者自慢の作物や加工品が並びました。その村が、豊かに肥えた土を汚され、6年間の避難を強いられたのでした。農業との関わりを断たれた人も少なくありません。それぞれに厳しくつらい道のりがありました。

いよいよ始まる農業復活への「はじめての歩」をお知らせしました。今後は、状況に応じて農地の集約や共同管理が行える仕組みづくり、新たな特産品づくりなど、さらなる創意工夫も必要になるでしょう。高い技術を培ってきた農業者の皆さんと協働して、村も農業復活への挑戦を続けていきます。

「農」による生きがいの再生を支援します！

販売を目的としない「生きがい農業」に要する費用を支援します。事業の活用を希望する方は村農政係まで申請してください。

「農による生きがい再生支援事業」

1. 補助対象…パイプハウス設置・修繕、小農具・生産資材等の購入等
2. 補助率…補助対象経費×補助率50%【補助金上限：50万円】
3. 申請方法…農政係に直接お越しの上、申請書に記入をお願いします
4. 申請期限…毎月20日締め切り

問い合わせ 復興対策課農政係（本庁☎0244-42-1621）

生きがい農業として、ブドウを村内の農地に定植しました。シャルドネとメルロー合わせて100本です。震災後からワイン用のブドウを作っている川内村の取り組みを学ばせてもらっています。5年後には収穫したブドウでおいしいワインを仕込みたい。ゆくゆくは賛同する人が全国から来て村に住んでくれたらと夢も広がります。



長谷川芳博さん（伊丹沢）

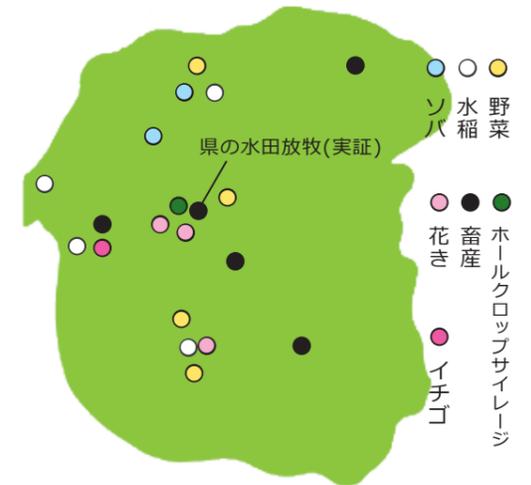
4/20に村内でワイン用のブドウを定植しました

やるぞ！今年度の動き

今年度は、出荷制限・摂取制限の解除を受けて、いち早く村内で、出荷を目的にした米・ホールクロップサイレージ・トルコギキョウ・カスミソウ・リンドウ・野菜・繁殖子牛等の生産を再開する農家がいらっしゃいます。また、松塚地区では、県畜産研究所が主体となって、5月末頃から、母牛6頭による水田放牧実証が始まります。複数の地域で、秋ソバの栽培を行う計画もあります。（右の営農再開マップをご覧ください）

土作りからの再スタートは並大抵ではありませんが、そうした中で「農」にたずさわる皆さんには、必要な対策をしっかりと実施して、胸を張って良い作物を作っていただきたいと思えます。皆さんの農業の復活にける思いを共有し、村もしっかりと支援をしていきます。

●営農再開マップ●



「農」に関わる事は何でもご相談ください



昨年度から農政係で行っている農業者のヒアリングは、現在も継続しています。活用できる補助事業の紹介や、申請・届け出の支援も行っておりますので、農業でやりたいことがある方は、まずは身一つで結構ですので、農政係まで相談においでください。

なお、担当者が不在の場合もありますので、事前に日程を相談していただくと助かります。ご連絡をお待ちしています。

問い合わせ 復興対策課農政係（本庁☎0244-42-1621）

復興を歩む

vol.25

村と福島大学の
協力協定の締結

4月5日、村と福島大学が、「までいな家」協力協定を締結しました。この協定は、村と福島大学が、復興・産業・文化・環境福祉・教育などの分野で連携し、相互発展を図るためのものです。福島大学は、協定に基づき、村役場に隣接する環境モデルハウス「までいな暮らし普及センター」通称「までいな家」を、「福島大学飯館までいランチ」として活用します。

同時に、村と福島大学行政政策学類は、2017年度「復興連携プログラム」に関する協定書を取り交わしました。こちらは、「までいな家」協力協定のもと、福島大学の学生や教職員が、村の再生・発展と、村民の暮らしの再建に寄与する「復興連携プログラム」を、企画・運営するためのものです。

2つの協定の締結後、福島大学の中井勝己学長は、震災以前から続く村と大学のつながりを振り返り、「村に寄せてきた思いがある。ようやく帰村となった村に対して、いろいろな形で協力を進めたい。若い人が村内を闊歩することで活気も生まれればと思う。学生には現場で学ぶ力を身につけてほしい」と語りました。菅野村長は、「避難指示解除から間髪を入れずこのような形で協力をいただけることは本当にありがたい」と謝意を伝え、「若い方に喜んでもらえるような拠点にしたい。どのような活動が展開されるか楽しみだ」と期待をこめました。

今年度始動するプログラムとして、早速、ランチを提供する村民食堂の運営、郷土料理による土産品の開発、学生が聞き取りを行って行く村民の「自分史」制作などが提案されました。行政政策学類の教職員と学生らが中心となり、これらの事業の検討を深めていきます。



村役場本庁で行われた協力協定締結式の後、「福島大学 飯館までいランチ」としてこれから活用される「までいな家」の前で談笑する村と福島大学の関係者たち。中央看板の左側1人目が中井勝己学長、2人目が鈴木典夫行政政策学類長。

村の新しい顔 職員紹介

平成29年4月1日より採用となった、村職員及び派遣職員等を抱負と合わせて紹介します。



神奈川県任期付
建設課土木係
稲場 勝 出身…富山県
設計会社に40年間勤めていました。復興に役立つ事ができれば幸いです。よろしくお願いします。



村任期付職員
教育課学校教育係
宮島 康夫 出身…伊達市
子どもたちの笑顔があふれる学校再開を目指し精一杯努力しますので、よろしくお願いします。



復興庁より派遣
建設課農林土木係
榎本 雅巳 出身…大阪府
わからない事ばかりでご迷惑をお掛けしますがよろしくお願いします。



村新採用職員
総務課企画係
庄司 伸也 出身…伊丹沢
ふるさとの復興のため、日々の業務に全力で取り組みたいと思います。よろしくお願いします。



村地域農業再生協議会職員
復興対策課農政係
青田 豊美 出身…飯館村
震災前は、専業農家をしていました。村の農業再生できるようにがんばります。



村任期付職員
教育課学校教育係
加藤 永信 出身…和歌山県
福島県に単身赴任して4年目となります。飯館村の生活基盤復興に向けてがんばります。



復興庁より派遣
復興対策課農政係
渡辺 秀一 出身…福島市
今までの職務経験を活かし復興のためにつくしたいと思います。よろしくお願いします。



村新採用職員
復興対策課農政係
高橋 萌育 出身…相馬市
皆さんの生活がより良くなるように、笑顔で一生懸命がんばりますのでよろしくお願いいたします。



平成29年度 新採用 村役場職員

村民の皆さん、一人ひとりの復興を目指し業務を行っていきます。
どうぞ、よろしくお願いいたします。
平成29年4月 新職員 一同



村任期付職員
生涯学習課生涯学習係
佐藤 明美 出身…飯館村
交流センターにあります。お気軽にお寄りください。村民の皆様よろしくお願いします。



福島県より派遣
飯野支所生活支援係
松下 秀平 出身…草野
ふるさとに戻って来てとても嬉しく思います。よろしくお願いします。



村新採用職員
健康福祉課健康係
赤石澤 愛 出身…久保・外内
保健師として、住民の方の心に寄り添った支援ができるように頑張ります。



村任期付職員
健康福祉課健康係
宮谷 理恵 出身…愛媛県
看護師として、村民の皆様が健康に過ごせるようお手伝いしたいと思います。



村任期付職員
住民課住民係
渡辺 明 出身…福島市
65歳体力には自信あり！毎日、交流センターふれあい館から役場まで徒歩通勤しています。「笑顔とあいさつ」をモットーに復興業務にあたります。



復興庁より派遣
総務課
荻野 洋平 出身…千葉県
飯館村のために一所懸命励みたいと思います。色々勉強させてください。Make it Great Again !



神奈川県任期付
建設課土木係
薩来 一男 出身…北海道
神奈川県任期付職員として7月で4年目を迎えます。前任地は宮城県松島町でした。



村任期付職員
飯野支所生活支援係
國嶋 良夫 出身…福島市
2年前に福島市役所飯野支所に勤務していたので、飯館村には親近感を持っています。



復興庁より派遣
復興対策課商工労政係
佐藤 勝一 出身…秋田県
「美しい村」飯館の復興・再生のため頑張ります。

【お詫びと訂正】先月号に掲載した草野・飯館幼稚園園長名に誤りがありましたので、お詫びと訂正をいたします。正しくは、「草野・飯館幼稚園園長 吉川武彦」です。関係者の皆さまにはご迷惑をおかけし、大変申し訳ありませんでした。

まっすぐ、前へ。いいたてっ子 入園・入学式

4月に幼稚園・小学校・中学校の入学式が行われました。避難先での最後の春。子どもたちの新しい生活が始まりました。

4月7日、草野・飯樋幼稚園の入園式にはお母さんと手をつなぐ6人の新入園児の姿が見られました。
園児は、初めての保育室、初めての友達や先生に緊張する姿も見られましたが、名前をよばれると元気に「はい」と返事を返しました。
式では、先生が園生活を題材にした人形劇を披露し園生活の楽しさを伝えました。



草野・飯樋幼稚園

担任の先生に名前を呼ばれ、元気に返事をする入園児



校長先生から、黄色の帽子が手渡されました



草野・飯樋・白石小学校

小学校に入学した2人の児童

4月6日、草野・飯樋・白石小学校の入学式が行われ、2人の入学児童が保護者や在校生に見守られながら、小学校生活をスタートしました。
式のはじまりには、あたたかい拍手の中、入学児童が同校に通う兄・姉と一緒に手をつないで入場しました。吉川武彦校長から「入学おめでとう。ありがとうの気持ちをもって元気に登校してくださいね」と歓迎のあいさつがありました。

4月より、小・中学校に転入された先生をご紹介します。いいたてっ子をよろしくお願ひします。



飯樋小学校

主事
高野 英樹

校長
吉川 武彦



草野小学校

講師
宋戸 優貴

教諭
室井 真奈美



飯樋中学校

主任主査
福田 修

花まる学習会派遣
会田 完三

教諭
佐藤 飛鳥

教頭
佐々木 徹

校長
和田 節子

教諭
佐藤 和佳



白石小学校

養護教諭
加藤 奈津紀

教頭
佐藤 育男



飯樋中学校

真新しい制服に身を包んだ9人の新入生

4月6日、飯樋中学校に9人の新入生が入学しました。新入生を代表して庄司梨花さんが決意を話しました。「震災から6年。これまでたくさんの方々から支援・励ましをいただきました。感謝の気持ちを行動に移し、社会に貢献できる大人を目指していきたい」。対して和田節子校長は「避難生活をどう捉えるかは自分次第。自分が選んだ道は正しかったと胸を張って言えるような中学校生活にしてほしい」と激励の言葉を贈りました。

方部別の住民懇談会を 4会場で開催しました



伊達市保原市民センターでの懇談会（4月12日）

4月中旬、方部別の住民懇談会を、伊達市・南相馬市・福島市飯野町・福島市黒岩の4か所で開催しました。この懇談会は、復興事業の現状や、生活再建に役立つ支援事業についてお知らせし、村民の皆さんの意見を直接受け取るために、国・県との共催で開催したものです。村、村議会、県、国の機関の代表などが出席し、参加者の質問や提案を受けて、意見交換も行いました。4回で合わせて119人の参加をいただき、関係機関と情報・課題を共有する機会となりました。

大切な人にあてた979通 10年後の未来へ届けます

村制施行60周年を記念して村が募集した「10年後への手紙」。村民の皆さんはもとより、村外からも多数のご応募をいただき、ありがとうございました。1月末の締め切り以降も、「間に合えばお願いします」と届く手紙を追加して、現在の総数は979通に。いよいよ保管を開始する運びとなりました。前は、思いもよらない避難の中での配達となりましたが、これから始まる10年の後には、皆の苦労や努力が報われた、明るい未来が待っていますよう、願いをこめて保管します。



手紙は大切に保管し10年後の未来に配達されます

心にしみる歌をありがとう 千昌夫さんのコンサート



握手を交わして客席を回りながら迫力の熱唱

4月16日、交流センター「ふれ愛館」で、自主文化事業「千昌夫 お帰りなさいコンサート」を開催しました。国民的ヒット曲の数々を、千昌夫さんの生の歌声で味わおうと、当日は350人あまりが会場を埋め、開演を待ちました。コンサートでは、千さんが、「北国の春」や「星影のワルツ」などの名曲を次々に熱唱。また、曲と曲の間には、親しく来場者に語りかけ、楽しいおしゃべりで会場を盛り上げました。心にしみる歌と、大笑いのトークを、来場者は心からの笑顔で楽しんでいました。

避難指示解除によせて 復興事業の企業体から寄贈

村内で除染事業などの復興事業に携わる大成・西武・本間あおみ共同企業体から、のぼり旗とプランターの寄贈がありました。村の6年ぶりの避難指示解除に思いを寄せていただいたもので、解除に合わせて用意をしてくださいました。鮮やかな黄色の地に「おかげさまで」「避難指示解除です」と書かれたのぼり旗は、県道原町川俣線沿いに、100本が設置されました。パンジーなど色とりどりの花がにぎやかに咲くプランターは、役場庁舎の前を彩っています。



役場前のプランターでは春の花がゆれています

大火山ツツジ自然公園に サクラやハナモモを植樹



笑顔の参加者。花木と山ツツジとの競演が楽しみ

4月18日、村議会の議員OB会と共に、きつつきの会（川俣自治会）の有志、草刈りを手伝う東京電力職員らが、大火山の山ツツジの自生地、山桜と花桃、合わせて18本を植樹しました。山ツツジの群生が広がるこのエリアは、議員OB会が、平成16年から整備を続けていて、今年5月14日に散策ツアーも開催します。植樹は毎年継続する予定で、関係者は「自分で花木を植えてみたい人は相談を」と活動の広がりにも期待を寄せていました。問 きつつきの会 ☎024-566-3370

新聞に載せた感謝広告に エールが寄せられています

村では、長泥地区を除く村内の避難指示が解除された3月31日に合わせて、県内2紙、全国3紙の新聞に、感謝のメッセージ広告を出しました。デザインは4パターンで、県内紙にはふるさと再生にかける思いを、全国紙には支援への感謝を表し、避難解除の節目を報告しました。

このメッセージに対して、共感や村民への励ましなど、県内外から手紙やメールが寄せられています。声援からまた力をいただいて、それぞれの復興にさらに前向きに取り組んでいきましょう。



県内紙に掲載した感謝広告（左：福島民報新聞、右：福島民友新聞）と、村に届いた励ましの手紙





會田さん(右)と調布市の本間さんが桜の結婚を報告

伊丹沢地区の會田征男さん宅で、「飯館復興の桜を守る会」が「復興さくらまつり」を開催。村民や支援者など1000人余りが集い、五分咲きとなった約3000本の桜の花見を楽しみました。會田さんは会を代表して「村を元の姿に」と復興への思いを語り、協力者に感謝を伝えました。また、交流する東京都調布市の市民団体と共に、桜の若木の結婚式を披露しました。



紅白の投げ餅。踊りや音楽のステージも続きました

飯館復興の桜を守る会

4/23

4/5

松川第二応急仮設住宅



平成30年度の小学6年生の教科書に掲載されます

「命のおにぎり」のエピソードが、来年度、光文書院発行の道徳の教科書に掲載されることになりました。明らかになりました。「命のおにぎり」とは、平成26年2月、記録的な大雪で立ち往生した車列に、松川第二応急仮設住宅の住民が、支援米を炊いて配ったおにぎりのこと。反響が広がった当時、住民の皆さんは、「役に立てばうれしい。少しでも恩返しになれば」と話していました。



当時は紙芝居の題材にも。上演に感謝する住民



昨年建て替えられた分署の駐車場に整列する団員ら

飯館村消防団

4/23

4/22

松川第一応急仮設住宅



台湾の伝統的な人形劇と弦楽四重奏の競演



検閲に臨む団員ら。新しい団員服が青空に映えます

春季検閲式が、南相馬消防署飯館分署で行われ、村消防団・役場消防隊・女性消防隊の合わせて107人が参加しました。高野進消防団長は「新しい村づくりを行う中で住民が安心して生活できるよう気概を持って任務にあたる。団員の二層の奮起を願う」と一同を激励。団員らは通常点検・機械器具点検など不測の事態に備える訓練を行い、検閲を受けました。

台湾から来日し福島市で復興支援の親善コンサートを開催した「台北愛楽管弦楽団」「人形劇華洲園掌中劇団」の皆さんが、集会所を訪れ、弦楽四重奏と台湾伝統の人形劇を披露しました。「皆さんのために演奏ができてうれしい」「健康をお祈りする台湾の歌を演奏します」など温かな言葉を添えて演奏された美しい曲の数々に、35人の来場者が聴き入りました。



国際色豊かなプログラムをこの距離感で

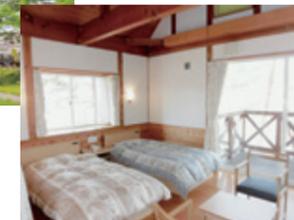
入札結果をお知らせします

入札日／3月30日（単位：円）

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
飯館村役場庁舎常駐施設警備業務	15,428,257	セコム(株)	平成30年3月下旬
飯館村役場本庁舎床面等清掃業務	1,188,000	(有)藤野商事	平成30年3月下旬
広報いいたて作成支援業務 及び飯館村公式ウェブサイト更新業務	6,220,800	(株)SAGA DESIGN SEEDS	平成30年3月下旬
ホームページ更新運用管理業務	1,198,800	(株)インフォメーション・ネットワーク福島	平成30年3月下旬
復興拠点整備等総合調整業務	19,947,600	(株)佐川旭建築研究所	平成29年6月下旬
道の駅までい館開業準備業務	7,128,000	(株)までいガーデンビレッジいいたて	平成29年6月下旬
総合行政システム賃借料	11,988,000	(株)福島中央計算センター	平成30年3月下旬
自治体情報セキュリティ効果対策システム賃借料	1,447,200	(株)福島中央計算センター	平成30年3月下旬
総合型GIS運用支援保守業務	1,983,960	(株)福島中央計算センター	平成30年3月下旬
庁内電算業務	6,372,000	(株)福島中央計算センター	平成30年3月下旬
地域インターネット保守業務	1,166,400	東日本電信電話(株) 福島法人営業部	平成30年3月下旬
震災記録デジタルアーカイブシステム保守業務	2,488,320	東日本電信電話(株) 福島法人営業部	平成30年3月下旬
一般廃棄物収集・運搬・処理・処分業務	6,771,600	目黒 欣児	平成30年3月下旬
全村システム警備保障業務(42局地区)	12,519,360	セコム(株)	平成30年3月下旬
全村システム警備保障業務(43局地区)	7,830,432	ALSOK 福島(株)	平成30年3月下旬
飯館村防犯・防災巡回パトロール業務	316,872,000	(株)トーネット	平成30年3月下旬
飯館村防犯カメラシステム設置事業賃借料	18,343,584	セコム(株)	平成30年3月下旬
税務LANシステム保守支援業務	993,600	(株)福島県中央計算センター	平成30年3月下旬
固定資産税評価替えに係る標準宅地鑑定評価	3,456,000	(公社)福島県不動産鑑定士協会	平成29年5月上旬
健診案内通知等作成業務	1,350,000	福味商事(株)	平成30年3月下旬



お知らせ



村内に宿泊できます 「きこり」リニューアルオープン

● 宿泊体験館きこり ●

営業時間 午前9時～午後6時

● 宿泊 チェックイン 午後3時 / チェックアウト 午前10時

宿泊料金 ひとり1泊(食事なし、入浴料込)

大人 3,675円(中学生以上)

子ども 3,150円(3歳以上小学生以下)

※宿泊予約は、2日前までお願いいたします。

● 日帰り入浴のみもご利用いただけます。

大浴場 大人(中学生以上)1回300円 / 子ども(3歳以上小学生以下)1回150円

イオラ(大浴場込) 大人(中学生以上)1回700円

ご予約・お問い合わせ

宿泊体験館きこり ☎0244-42-1012 / fax 0244-42-1019

宿泊体験館きこりでは、5月8日から宿泊(素泊まり)を再開します。コテージ・宿泊棟をリニューアルし、皆さんのご利用をお待ちしています。
新しくなった「きこり」でご家族・ご友人と楽しい時間を過ごしませんか。

4月の村の動きと主なできごと

- 4日・小中学校職員合同着任式(村役場本庁)
- ・飯館村議会 平成29年第3回臨時会(村役場本庁議場)
- 5日・福島大学と飯館村との「までいな家」協力協定締結式(村役場本庁)
- ・仮設住宅・公的宿舎管理人会議(飯野支所)
- 6日・草野・飯樋・白石小学校 入学式(草野・飯樋・白石小学校体育館)
- ・飯館中学校 入学式(飯館中学校体育館)
- 7日・草野・飯樋幼稚園 入園式(草野・飯樋幼稚園ホール)
- 8日・復興応援者感謝のつどい(福島市・ホテル辰巳屋)
- 12日・内堀雅雄福島県知事との懇談会(村役場本庁)
- ・飯館村方別住民懇談会(伊達市・保原市民センター)
- 13日・平成29年度第1回飯館村行政区長・副区長会議(福島市・福島グリーンパレス)
- 15日・飯館村方別住民懇談会(南相馬市・サンライフ南相馬)
- 16日・千昌夫さん「お帰りのさいコンサート」(交流センター「ふれ愛館」)
- 17日・飯館村方別住民懇談会(福島市・飯野学習センター)
- 19日・飯館村議会 平成29年第4回臨時会(村役場本庁議場)
- 20日・飯館村方別住民懇談会(福島市・県青少年会館)
- 21日・第4回農業委員会定例総会(村役場本庁議場)
- 23日・平成29年村消防団春季検閲式(消防飯館分署駐車場)
- 24日・道の駅出店希望者説明会(交流センター「ふれ愛館」)
- 25日・第1回自治組織連絡協議会(交流センター「ふれ愛館」)
- ・定例教育委員会(村役場本庁)
- 25・26日・飯館村議会産業厚生常任委員会所管事務調査(岩手県北上市・宮城県南三陸町)
- 26日・道の駅出店希望者説明会(交流センター「ふれ愛館」)
- 28日・飯館村議会 平成29年第5回臨時会(村役場本庁議場)
- ・飯館村議会総務文教常任委員会所管事務調査(飯館村内)



平成24年の発足時から会長を務める「きつつきの会」の集会所前で。齋藤さんは昭和52年から3期12年間村議会議員を務めました。

もうすぐ大火山の山ツツジが咲く。その見事な景色を多くの人に楽しんでもらいたいと、村議会の議員OB会として整備を始めたのは、平成16年のことだ。太い雑木を倒したり、下草を刈ったり、もう14年間続いている。震災の年でさえ休まなかった。その時は被ばく対策を取り、短時間の作業だったが、「ここまでやってきて、あと少しなのに」という気持ちで休まなかった。今は年々観に来る人も増えていて、ずっと大事にしてもらいたいと願っている。今後は村も関わり、さらに整備が進む計画だ。

今年5月14日に、「大火山ツツジ自然公園 散策ツアー」を開催

も、帰りがたがっている。全体的にね、半信半疑なんだと思う。たとえば福島に家を建てて、仕事に通って、それでも自分の家には行ってみたくなく思う。そんな時に、草のびて我が家も見えない状況だったら、がっかりするでしょう。そういうことを避けるには、村も本気でやらないと。地域づくりをしていこうという人たちにも、がんばってほしい。無理にはない。自然に帰って来られる環境をつくっていったら最高だ。復興には、環境づくりが大切だと思

もうすぐ大火山の山ツツジが咲く。その見事な景色を見てもらう。「こういう村なんだ」と思い出してほしい。忘れてほしくない。もつとと言うと、帰って来てほしい気持ちだ。本音はね。でもね、いいんだ。きれいな所を覚えていてくれたら、それで。外に家を作ってもいい。

※散策ツアーについてはきつつきの会 ☎024(566)3370

今は川俣町に住んでいるが、建て替えている村内の家が完成したら、俺は帰村する。若い人たちは判断がつかないということだから、まずは家内と母親と、3人で住むよ。村以外に住むことは考えられないもの、俺は。92歳になる母親

※「バンカリ」は、沢や川の水力を利用して精米や製粉を行う設備

も、帰りがたがっている。全体的にね、半信半疑なんだと思う。たとえば福島に家を建てて、仕事に通って、それでも自分の家には行ってみたくなく思う。そんな時に、草のびて我が家も見えない状況だったら、がっかりするでしょう。そういうことを避けるには、村も本気でやらないと。地域づくりをしていこうという人たちにも、がんばってほしい。無理にはない。自然に帰って来られる環境をつくっていったら最高だ。復興には、環境づくりが大切だと思

平成24年に、借り上げ住宅の自治会「きつつきの会」を、川俣地区で立ち上げた。仲間と酒を飲んでいて「何とかしないと」と始まった話だった。しかし、誰がどこにいるかも分からない状況で、はじめは大変だった。人から人に広まり、役場の協力も得ながら、自治会の規模はどんどん大きくなった。今では117世帯で、300人を越える会員数だよ。なぜ「きつつきの会」と名付けたかって？前田に「森のきつつきバンカリ」ってあるだろう。バンカリのあのカタンカタンという音が昔から好きだからさ。

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします



精神科医 堀有伸先生
ほりメンタルクリニック院長

おしえてくんちえ 堀先生

相談 自分一人で悩み過ぎて、悪いことばかり考えてしまいます。

堀先生 心の深いところまで打ち明けて話すことのできる友人を、意識的につくるようにしましょう。たくさんはいりません。一人でも、本音を伝えて聞いてくれる友人は、本当に大切です。人は、自分の心を自分で知ることは難しいのです。まじめな人の場合には、一人で考えると、自分に厳しくなり過ぎて、自分の足りないところを責めたり反省したりする考えばかりが強まって、自信がなくなってきてしまうこともあります。あるいは、周りの人から軽んじられているように思ってしまうかもしれません。悪い想像が強まり過ぎないためにも、誰かと話すことはとても大切です。

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで



読者の涙は「心のシェア」

平成29年3月31日、これまた村にとって忘れられない日になりました。6年間の避難生活の末、長泥を除いてという残念さがありますが、ようやく避難指示が解除になった日だからです。これまでは日中は自由に入出入りして良いが、泊まってはダメという「しきり」から全く自由に泊って良いという形になりました。長かっただけに、とてもうれしい限りですが、その一方で忘れてはならないのが、全国の多くの方々の応援・支援のことです。それらがあつたからがんばれたということもあるでしょう。

ということで、村では3月31日の全国紙と福島民報・民友新聞に感謝の広告を出しました。「ただいまふるさと」の題をつけて、「多くの方々へ感謝します。感謝を力にします。これからもよろしくです」と。

そしてもう1つの広告には、「種を蒔きます。6年間、大事に握りしめていた種を 力を合わせて種をまきます」と。

その広告を見られた郡山の85才の方の感想が新聞に載りました。

31日の新聞1ページを使つての、までの村のの広告を見ました。一読者一県民としてその気持ちが強く感じられ、ついつい涙してしまいました。「がんばって」とは言いません。遠くから大きな拍手を贈ります・・・と。

そして、村長さんの言葉のラストに「訪ねて行ってみたい村へ・・・」とありますが、20年前行った思い出の村にもう一度行ってみたいになりました。今月中に行きたいと思

います。と書いてありました。嬉しいですね。感謝感激です。ね。こちらの方が涙が出てきますね。「心のシェア」がまたひとつ生まれました。村民みんなこの方の「拍手」に込えていきましようや。

平成29年4月17日 飯館村長 菅野 典雄

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
遠藤 誠也くん	達哉・梢	大久保・外内
花井 慎乃丞くん	準一郎・由貴	伊丹沢
細 杉 勝 杜くん	勝政・早希	前田

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名	出身地
氏家 拓	川俣町
佐藤 絵里	飯樋町

いつまでもお幸せに

ひとのうごき

(平成29年3月31日現在)

人口	今月 (前月比)	3月1日~31日までの人口動態
男	2978人 (-30)	転入 2人
女	3035人 (-46)	転出 69人
計	6013人 (-76)	出生 3人
世帯数	1797戸 (-25)	死亡 12人

(住民基本台帳人口)

おくやみ

氏名	年齢	行政区
佐藤 カツ子	66	二枚橋・須萱
高橋 一夫	83	小宮
佐々木 了	75	草野
菅野 ユキノ	78	上飯樋
川村 榮	81	草野
郡 光雄	89	大倉
早川 キチノ	97	飯樋町
佐藤 里子	84	蕨平
志田 傳	88	上飯樋
木幡 五郎	92	伊丹沢
佐藤 一	83	宮内
高倉 ナミ子	96	関沢
高橋 ミツ子	91	関沢
村松 ハヤ子	87	小宮
嘉藤 トキ	95	白石
藤田 キヨノ	98	伊丹沢

ご冥福をお祈り申し上げます
(3月21日から4月17日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

さと宗幸さんと共にステージで「ふるさと」を歌う「飯館お母さんコーラス」の皆さん



歌手のさと宗幸さんが、式典の会場に素敵な歌を届けてくださいました



まっすぐに前を見つめて「ときよめぐれ（までのロンド）」を歌う小学生。美しい歌声がホールいっぱいに響きました



会場が一つになって歌う「ふるさと」。4番の歌詞を飯館中学校の生徒が作詞しました

フォトストーリー

おかえりなさい式典

3月31日、帰還困難区域となっている長泥地区を除く村内の避難指示が解除されました。村は、この節目を、復興を目指す道のりの新たなスタートと位置づけ、また、これまでのお力添えや励ましをいただいた皆様に改めて感謝を伝えようと、交流センター「ふれ愛館」で記念式典を催しました。

東芝の協力でアンドロイドが来場者をお出迎え

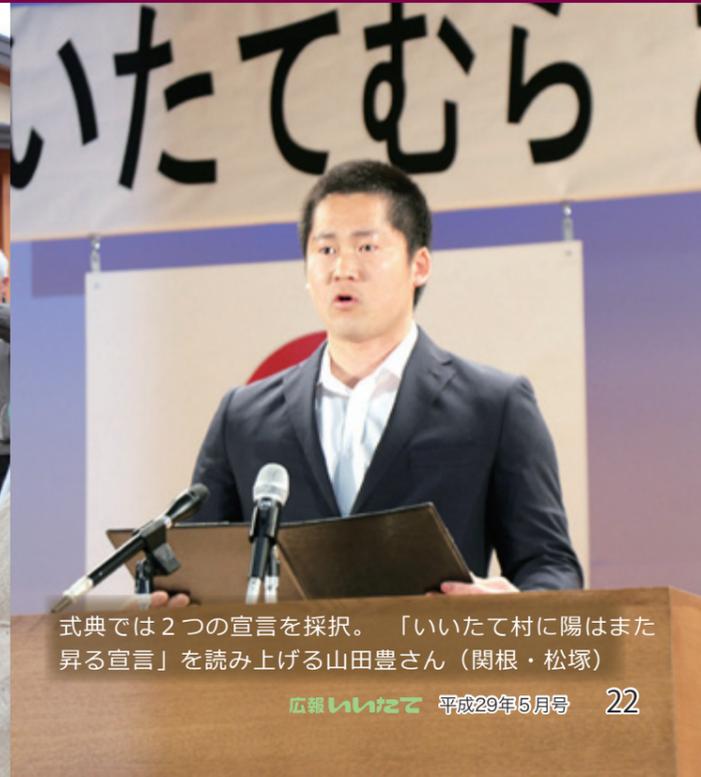


渋谷公園通商店街振興組合から贈られ、「いいたてホーム」で村民を待っていたハチ公像も会場へ



までい大使で同組合の塚越栄光さん

福島民報社から贈られたムラサキシキブを村民の皆さんと植樹。植樹する右から2人目が同社の高橋雅行社長



式典では2つの宣言を採択。「いいたて村に陽はまた昇る宣言」を読み上げる山田豊さん（根根・松塚）

HOPES
ホープス セカンド
2nd

5月と6月の週末に、自宅の庭を開放して「オープンガーデン」を開催する松原さん。庭を見下ろすウッドデッキで手打ちそばも振る舞う予定です(1日10食限定)。季節の花の庭づくりを続けて15年。震災前にも地域の仲間とオープンガーデンを催していました。「村外の人も見に来ていたよ。その頃知り合った浪江の人が、この前家族で訪ねてくれた」。花が人

今の私にできることを

松原光年さん
(小宮)



松原さんは南相馬市出身。体が弱かった娘さんの健康を気遣い自然豊かな村に移住しました(奥様は小宮の出身です)。趣味は生け花。民生委員を16年務めています。



石置の小道やベンチが配された松原さんの庭。山野草や季節の花が次から次に咲いていきます。庭の奥には手作りの遊歩道があり、池の水生植物や木々の間をぬう小川のせせらぎも楽しめます。花盛りが待ち遠しい。

と人をつなぎます。夫婦で帰村した近況と合わせて、知人や友人に、今回の開催を手紙で知らせるつもりです。「避難の時に励ましや心配をたくさんもらっていたんだ」。

妻の洋子さんが、「行政区の集まりでも、おでんを煮たり、魚をさばいて寿司を皆で握ったり。夫は皆さんに喜んでもらうことが好きなの」と教えてくれました。間もなく若葉が芽吹き、花の季節がやって来ます。松原さんは、「どのくらい来てもらえるかわからないけれど、誰でも気軽に立ち寄ってもらえたらいいね」と屈託のない笑顔を見せました。

● オープンガーデン ●

(小宮字曲田143の4)

5月13日(土)・14日(日)

27日(土)・28日(日)

6月10日(土)・11日(日)

17日(土)・18日(日)

24日(土)・25日(日)

※開催日以外は要問合せ

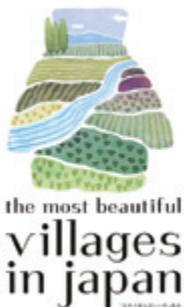
☎0244-432156

10時から12時30分

＜編集後記＞

● 新年度が始まり1か月、例年のことですがバタバタとした日々を過ごしてきました。「4月から、新しいことに挑戦だ」と意気込んでいたにもかかわらず、実際は「春眠暁を覚えず」の通り、春の陽気に誘われてしまい、いつもより寝坊気味の日々が続いています。※役場に遅刻はしていません！大きなことを言う前に基本を大切に、まずは、いいたてっ子の基本「早寝早起き朝ごはん」から始めねば。(木幡)

● 「村の良さをPRするゆるキャラを作ろう」と「みらい議会」で提案してくれたのは、平成26年度の小学6年生でした。それから3年。このたび誕生した村のゆるキャラ「イイタネちゃん」は、「やっタネ」「よかつタネ」が口ぐせで、ここの話「広報担当の木幡さんに似てるんじゃない」というウワサ。待たせタネー似ちゃっタネー(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。